
【クレジットカードに関する総合調査】 2014年度版 調査結果レポート

株式会社ジェーシービー
ブランドマーケティング部

JCBでは2000年以降、毎年、消費者の皆様(JCB会員・非会員を含む)を対象としてクレジットカードの利用に関する消費活動についての実態を把握することを目的とした調査を実施してまいりました。

この度、本年実施の調査結果がまとまりましたので「クレジットカードに関する総合調査2014年度版」をご報告いたします。本資料では、クレジットカード市場(保有・利用実態)について調査を実施し、その結果をまとめております。

本資料を、消費動向を把握する上での一つの素材として、社会的な分析にご利用いただければ幸いです。

今後も、JCBは、本調査を通して、多様化する個人消費市場に対応し、サービスの拡充に取り組んでまいります。

目 次

I. 調査設計 -----	3
II. 結果の概要 -----	4
1. クレジットカード保有率	5
2. クレジットカード保有・携帯枚数	6
3. クレジットカード利用頻度	7
4. クレジットカード利用金額	8
5. 保有クレジットカードごとの利用理由	9
6. クレジットカード利用業種	11
7. 支払いの際のクレジットカード利用割合	14
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額	16
9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況	17
10. 電子マネーの利用状況	18
11. デビットカードの利用状況	19

I. 調査設計

- 調査時期 : 2014年 9月
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 3,500人 (20代から60代の男女、学生を含む)
※登録型モニターへの依頼・アンケート回答任意

当報告書における表示内容と注意点

当報告書では、本年度(2014年度)の調査結果を中心に、2010年度～2013年度との比較を含めて作成しております。

<回収サンプル数>

		20代	30代	40代	50代	60代	小計	全体			全体
全体	男性	331	383	323	386	317	1740	3500	全体	3500	
	女性	322	378	322	396	342	1760				
北海道	男性	27	29	27	34	27	144	300	北海道	300	
	女性	27	31	29	38	31	156				
東北	男性	14	14	15	18	14	75	150	東北	150	
	女性	13	14	15	18	15	75				
北関東	男性	14	16	14	18	14	76	150	首都圏	1050	
	女性	13	15	14	18	14	74				
首都圏	男性	92	111	85	93	79	460	900			
	女性	84	103	79	92	82	440				
甲信越・北陸	男性	13	16	14	18	14	75	150	甲信越・北陸	150	
	女性	13	15	14	18	15	75				
愛知	男性	30	37	28	31	27	153	300	東海圏	450	
	女性	28	34	26	31	28	147				
東海 その他	男性	14	16	14	17	14	75	150			
	女性	13	16	14	17	15	75				
近畿	男性	46	55	43	53	47	244	500	近畿圏	650	
	女性	47	57	45	56	51	256				
近畿 その他	男性	13	15	14	17	14	73	150			
	女性	14	16	14	18	15	77				
中国	男性	13	15	14	18	14	74	150	中国・ 四国	300	
	女性	13	15	14	18	16	76				
四国	男性	12	15	14	18	14	73	150			
	女性	13	15	14	19	16	77				
福岡	男性	30	30	26	33	26	145	300	九州圏	450	
	女性	30	32	28	36	29	155				
九州 その他	男性	13	14	15	18	13	73	150			
	女性	14	15	16	17	15	77				

(実数)

- 集計方法 : ウェイトバック集計 (回収したサンプルを市場ボリュームに換算して集計を行う)
各サンプルに、母集団^(※)と回収サンプル数から割り出した「ウェイトバック値」を掛け合わせて集計サンプルを算出
<※>2010年国勢調査確定値を用いた

	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	愛知	東海 その他	近畿	近畿 その他	中国	四国	福岡	九州 その他	TOTAL
母集団	3,587,238	5,824,419	4,535,954	24,257,142	5,274,090	4,894,255	4,916,458	11,175,216	2,428,292	4,713,990	2,454,081	3,278,011	5,839,470	83,178,616
母集団比率	4.31%	7.00%	5.45%	29.16%	6.34%	5.88%	5.91%	13.44%	2.92%	5.67%	2.95%	3.94%	7.02%	100%
回収数	300	150	150	900	150	300	150	500	150	150	150	300	150	3500
回収比率	8.6%	4.3%	4.3%	25.7%	4.3%	8.6%	4.3%	14.3%	4.3%	4.3%	4.3%	8.6%	4.3%	100%
ウェイトバック値	0.503	1.634	1.272	1.134	1.479	0.686	1.379	0.940	0.681	1.322	0.688	0.460	1.638	
ウェイトバック後サンプル	151	245	191	1,021	222	206	207	470	102	198	103	138	246	3,500
ウェイトバック後比率	4.31%	7.00%	5.45%	29.16%	6.34%	5.88%	5.91%	13.44%	2.92%	5.67%	2.95%	3.94%	7.02%	100%

掛け合わせる

II. 結果の概要

総 括

■クレジットカード保有率は87%。平均保有枚数は3.3枚。

クレジットカード保有率は、2010年から減少傾向がみられ、2014年は87%であった。20代の保有率は男女ともに他の年代と比べて低く、80%を下回る。一人あたりの保有枚数は平均3.3枚で、昨年から変化はみられない。また、携帯枚数（実際に持ち歩くクレジットカードの枚数）は平均2.1枚で、こちらも昨年から変化はみられない。

■利用が多いクレジットカード上位2枚までは、利用頻度・金額ともに微増。

1番多く利用しているクレジットカードは、1ヶ月あたり平均5.7回、5.3万円利用されている。この1番多く利用しているクレジットカードは、利用頻度・金額ともに昨年と比べて、若干ではあるが増加している。2番目に利用しているクレジットカードも同様に、昨年比で微増傾向がみられた。

■「ポイント・マイル」や「入会費・年会費の安さ」など利得性が重視されている。

1番多く利用するクレジットカードを利用する主な理由は、「ポイントやマイルが貯めやすいから」が54%で最も高く、消費者の「ポイント・マイル」への関心の高さがうかがえる。2番目に多く利用するクレジットカードについては、「入会費・年会費が他社と比較して安いから（無料含む）」が44%と最も高い。この理由は、1番多く利用するクレジットカードでも高く、「入会費・年会費」はクレジットカード利用の重要な要素となっている。その他、「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる」「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがある」という理由も高く、普段から接点のある場所でのサービスが、クレジットカード利用を促進させていると考えられる。

■「スーパーマーケット」、「百貨店」、「コンビニエンスストア」など、店頭での支払いでのカード利用が増加している。「オンラインショッピング」、「ガソリンスタンド」、「家電量販店」の利用は減少傾向。

クレジットカードで支払いを行っている業種は、「オンラインショッピング」や「携帯電話」「スーパーマーケット」が多い。日常的な買い物でカードは利用されている。「スーパーマーケット」「百貨店」「コンビニエンスストア」等の、店頭での支払いでのカード利用が増加。「オンラインショッピング」「ガソリンスタンド」「家電量販店」は2012年から利用の減少傾向が見られた。

■生活費は微減。クレジットカード利用額、クレジットカード利用割合はともに微増。

世帯あたりの月平均生活費は、2010年から減少傾向にある。一方でクレジットカード利用割合は、2010年から増加傾向にある。

■電子マネーの保有・利用ともに増加傾向。デビットカードは保有・利用ともに大きな変化はみられない。

電子マネーは保有率79%・利用率66%で、2012年から増加傾向。電子マネーの利用業種は「鉄道・地下鉄・バス」が最も多い。デビットカードは保有率16%・利用率6%で、大きな変化はみられない。主な入会理由は「金融機関のキャッシュカードについてきたため」であった。

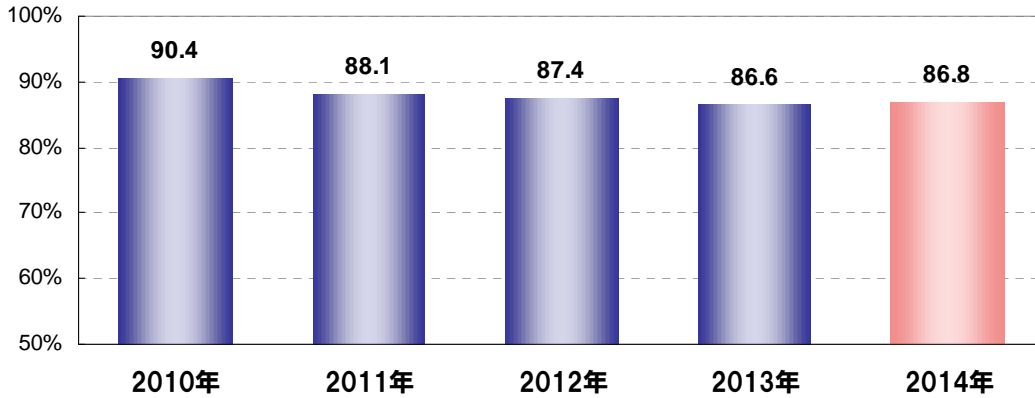
1. クレジットカード保有率

クレジットカードの保有率は87%で昨年と同程度だが、2010年からは減少傾向がみられる。

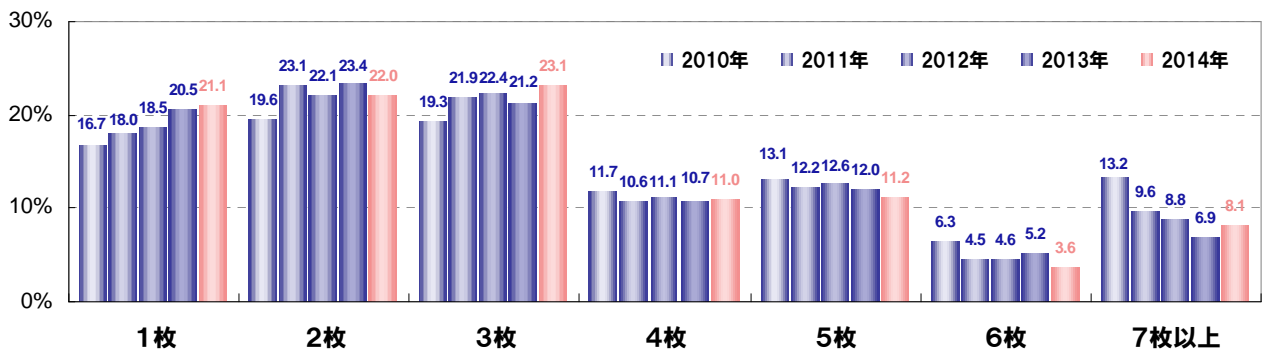
- クレジットカード保有率は、2010年から2013年にかけて減少傾向にあり、2014年は86.8%と2013年と同程度である。
- 保有枚数は、「1枚」が21.1%となり、「2枚」「3枚」も2011年～2013年と同様に20%を超え、「3枚以下」が全体の66%を占める。

■ クレジットカード保有率(経年) (N=3500)

※無効回答を除く



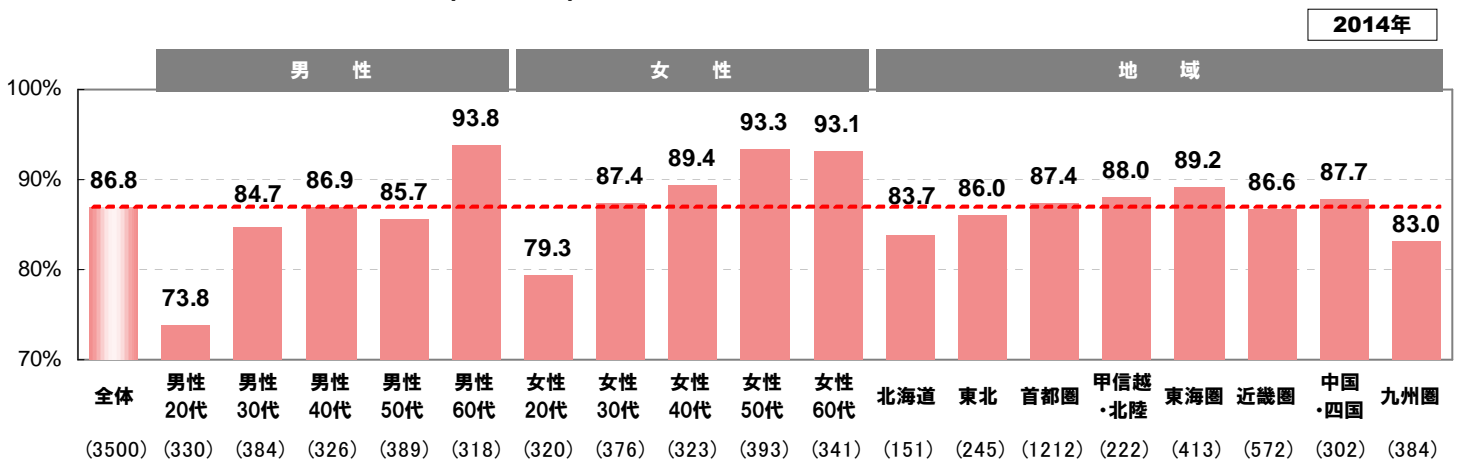
■ クレジットカード保有枚数(経年) (クレジットカード保有者のみで集計)



20代のクレジットカード保有率は低い。女性の保有率は男性より高め。

- クレジットカードの保有率を年代別に見ると、全体86.8%に比べ、20代は男性73.8%、女性79.3%といずれも低い。
- 男女別では、20～50代では女性の保有率が男性を上回るが、男性60代が93.8%と最も高い。地域別では、東海圏の保有率が89.2%と最も高い。

■ クレジットカード保有率(属性別) (N=3500)

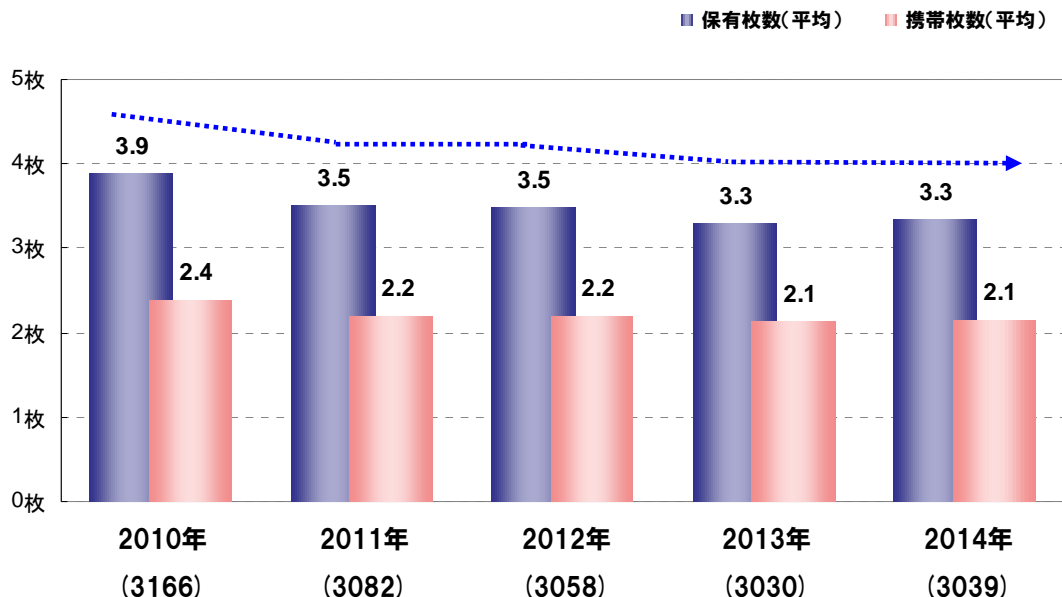


2. クレジットカード保有・携帯枚数

平均保有枚数は3.3枚、平均携帯枚数は2.1枚。ともに昨年から増減なし。

- 平均保有枚数は3.3枚と、2013年から変化なし。
- 同様に、携帯枚数(持ち歩いているクレジットカードの枚数)も平均2.1枚で、2013年から変化なし。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数 (N=3039:クレジットカード保有者) 【2014年】

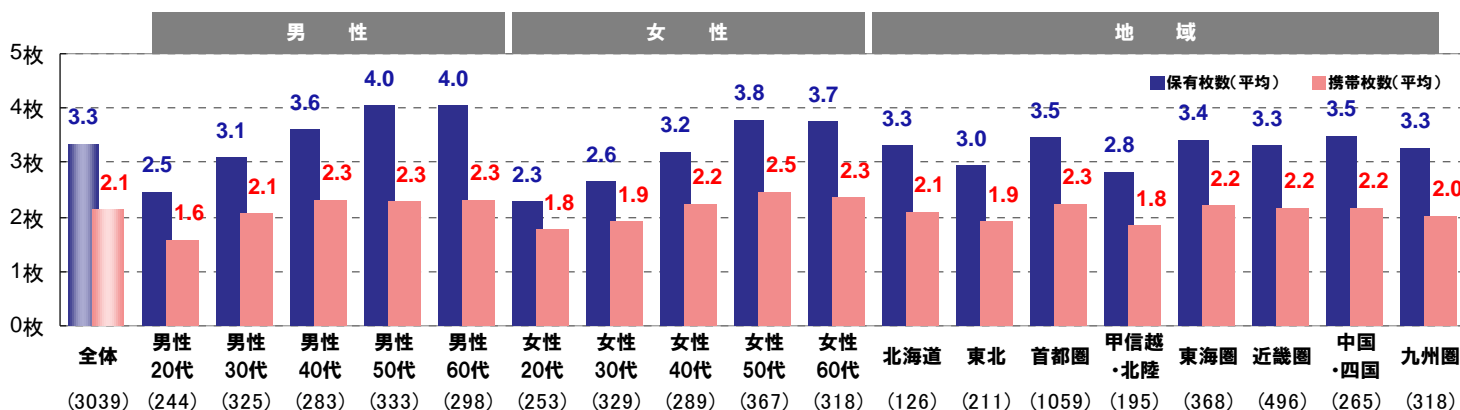


平均保有枚数、平均携帯枚数は男女ともに50~60代が高い。若年になるほど低くなっている。

- 女性より男性の保有枚数が多く、年代別では男性では50~60代、女性では50代が多い。男性50代以上の平均保有枚数は4枚と高い。一方で男女20代、女性30代は3枚に満たない。地域別では、甲信越・北陸が3枚に満たない。
- 平均携帯枚数も、保有枚数同様、年代別では男女ともに50~60代が多い。男女20代、女性30代は2枚に満たない。地域別では、東北、甲信越・北陸が2枚に満たない。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数【属性別】

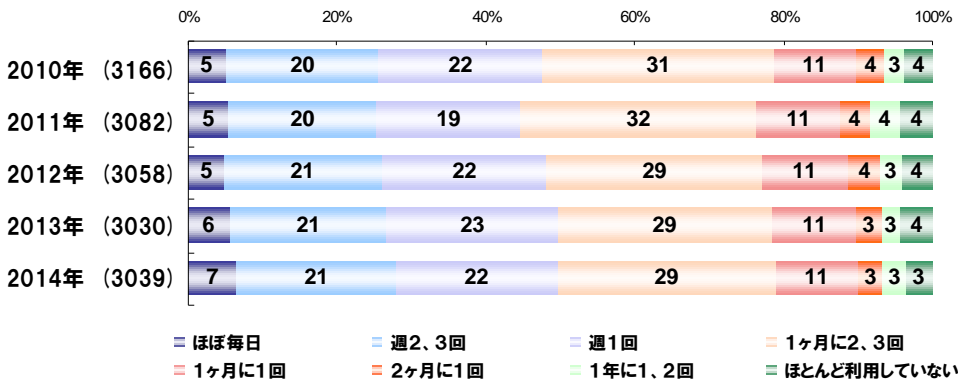
2014年



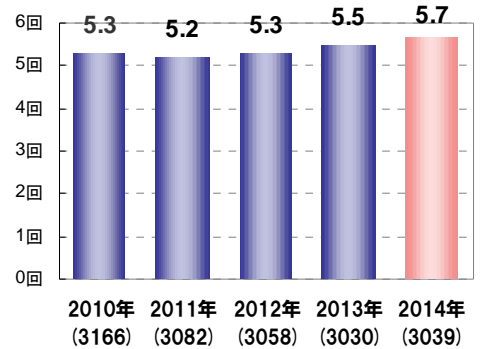
3. クレジットカード利用頻度

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は5.7回。1、2番目ともに昨年から微増。

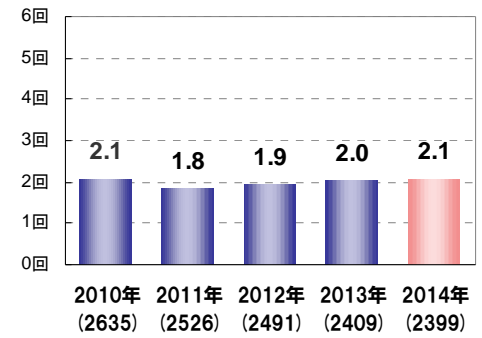
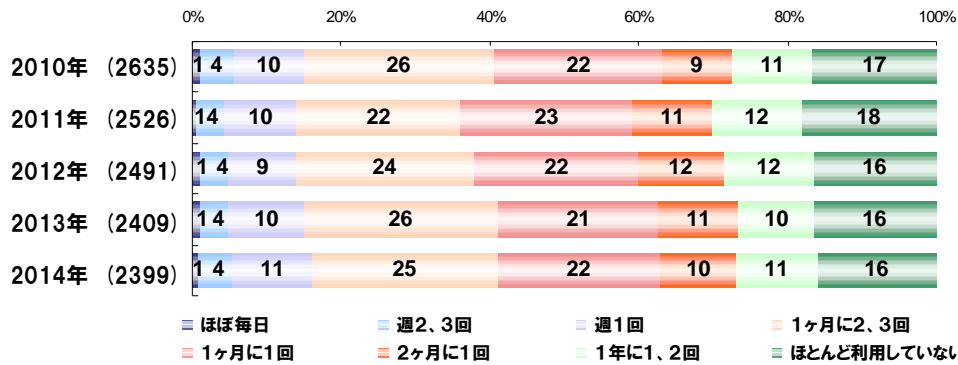
【1番多く使うカード(N=3039)】



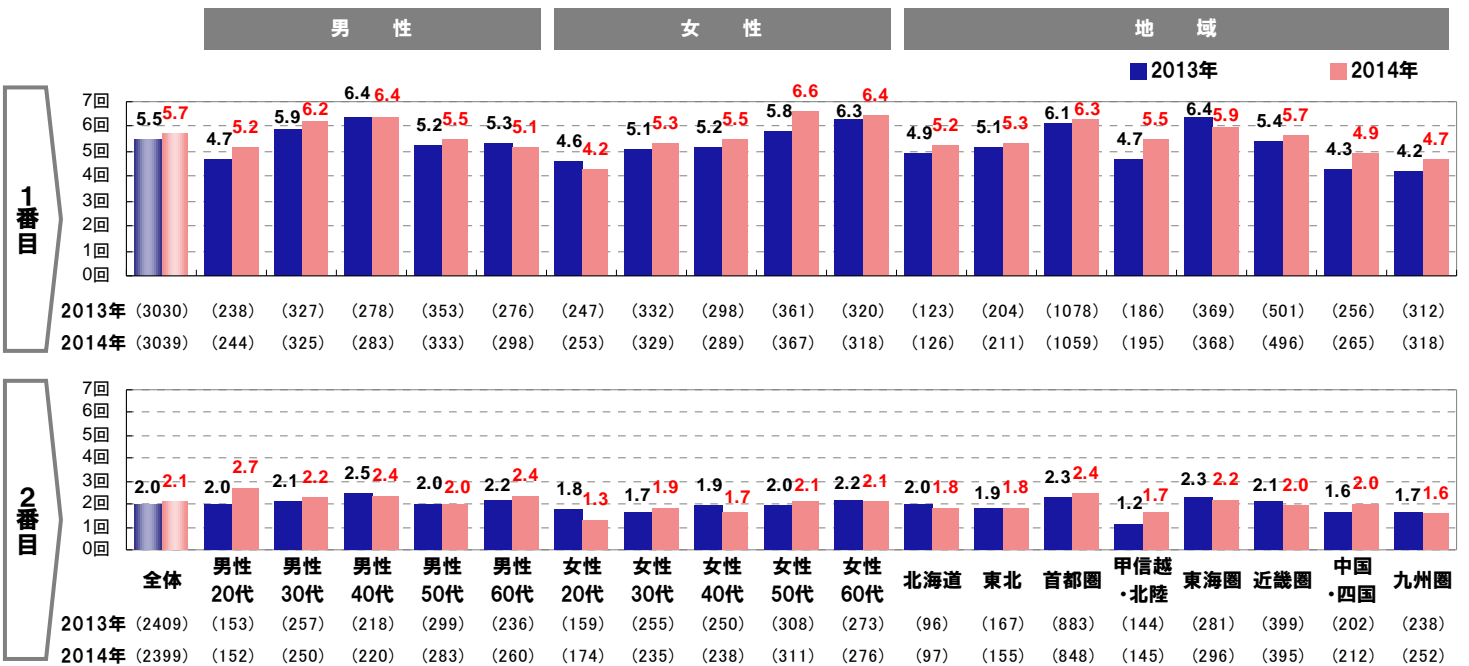
《月平均》



【2番目に多く使うカード(N=2399)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用頻度/月



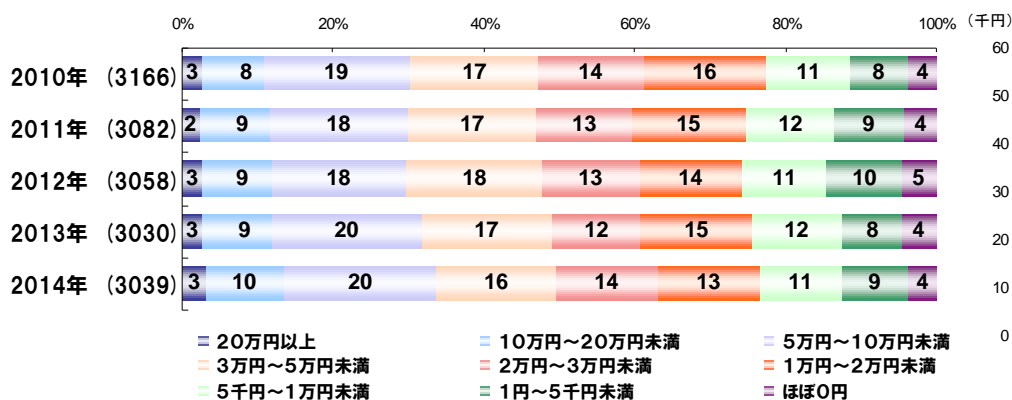
※利用頻度の定義: 本報告書における利用頻度は、下記の選択肢に対して、具体的な利用頻度を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	ほぼ毎日	週2、3回	週1回	1ヶ月に2、3回	1ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1年に1、2回	ほとんど利用していない
定義	週に5.5日	週に2.5日	週に1日	月に2.5日	月に1日	2ヶ月に1日	1年に2日	使用していない
年間利用回数推定	286回	130回	52回	30回	12回	6回	2回	0回

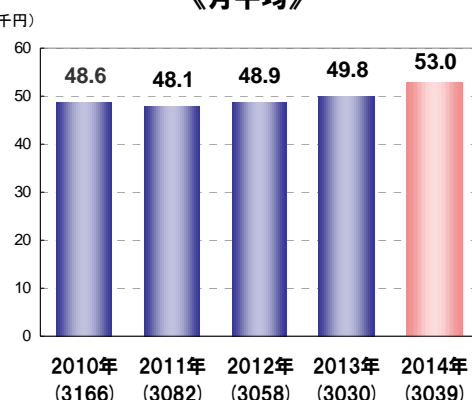
4. クレジットカード利用金額

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は5.3万円。1、2番目ともに昨年から微増。

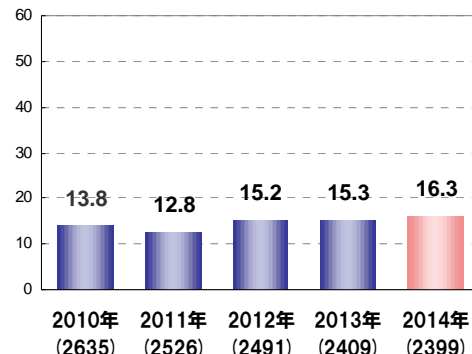
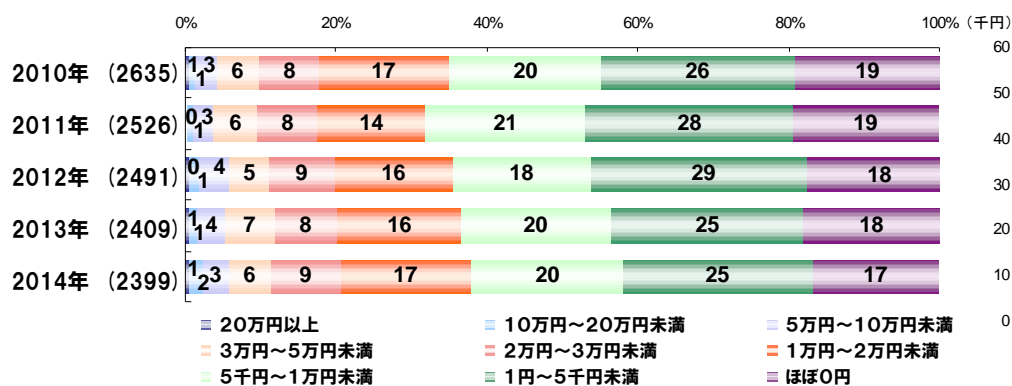
【1番多く使うカード(N=3039)】



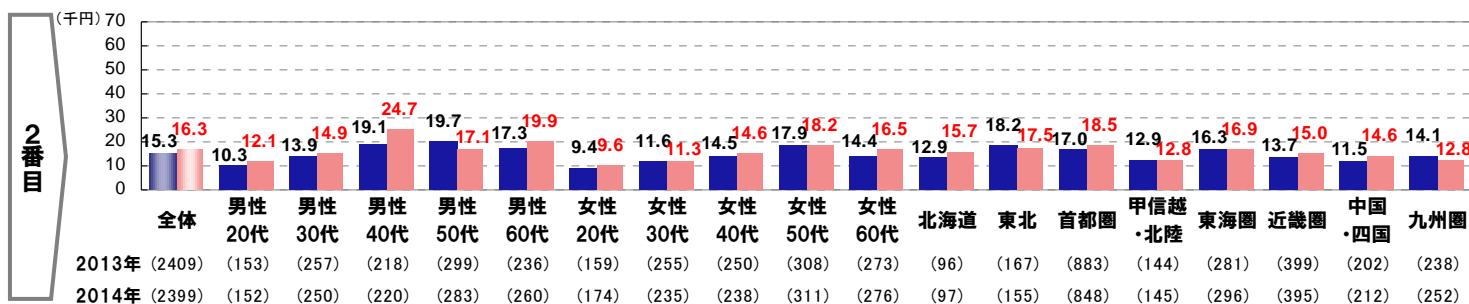
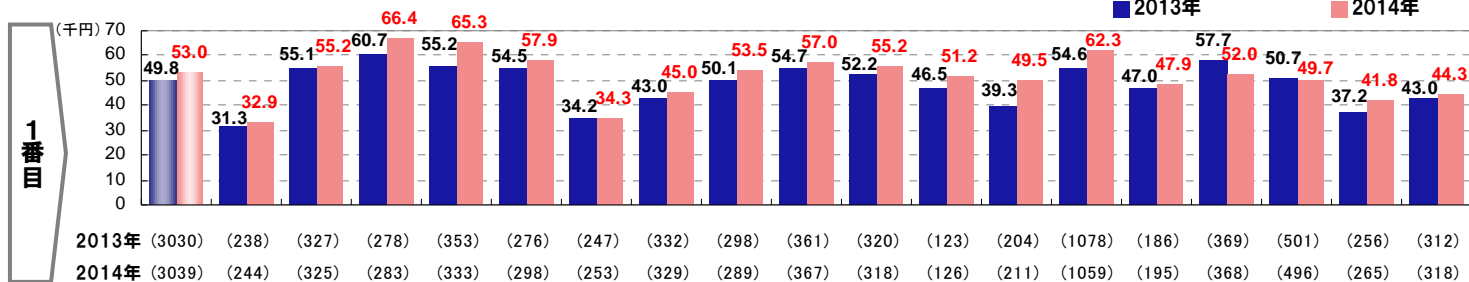
《月平均》



【2番目に多く使うカード(N=2399)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用金額/月



※利用金額の定義: 本報告書における利用金額は、下記の選択肢に対して、具体的な利用金額を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	20万円以上	10万円～20万円未満	5万円～10万円未満	3万円～5万円未満	2万円～3万円未満	1万円～2万円未満	5千円～1万円未満	5千円未満	ほぼ0円
年間利用金額推定	300,000円	150,000円	75,000円	40,000円	25,000円	15,000円	7,500円	2,500円	0円

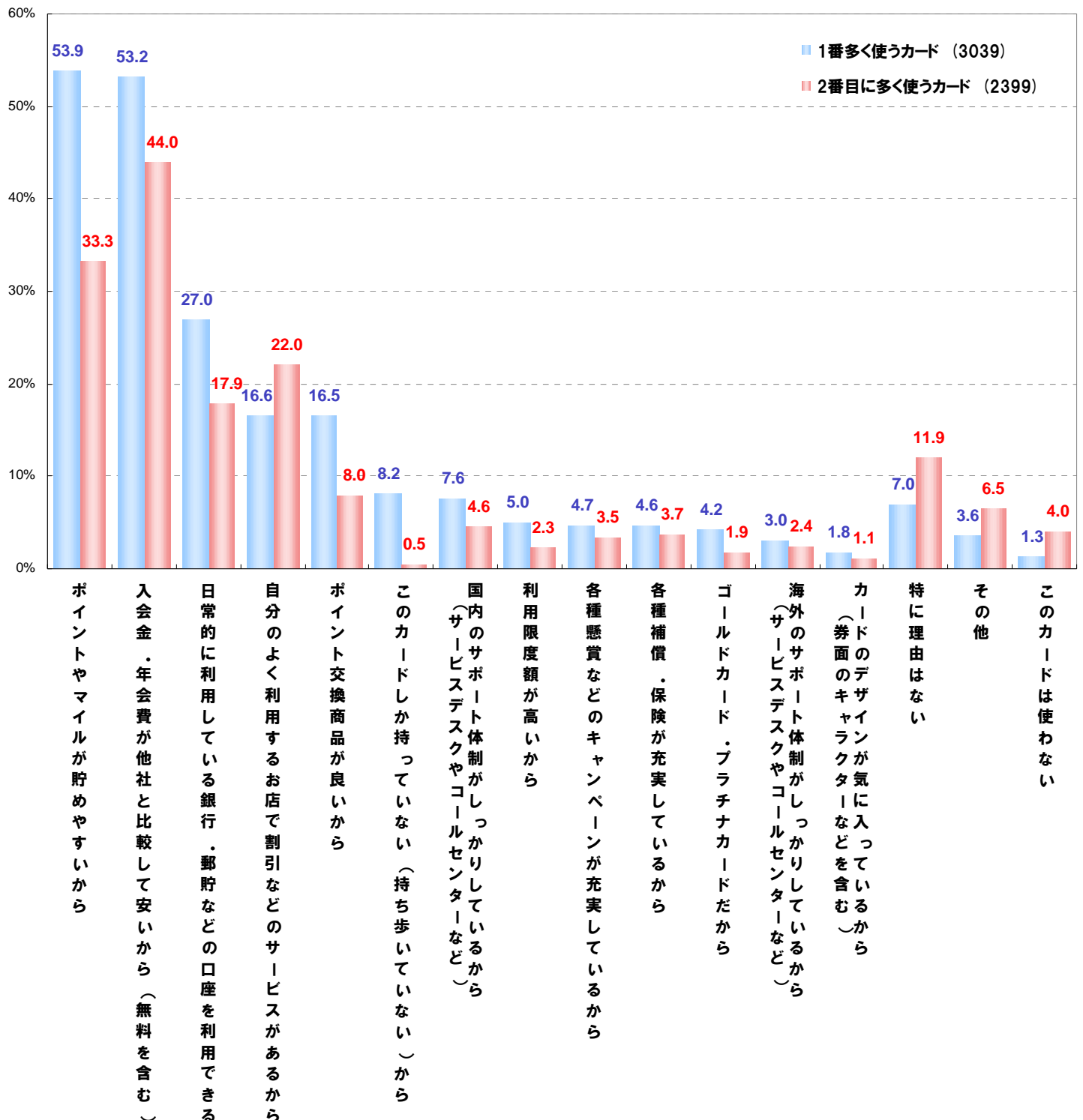
なお、後述する世帯における利用金額は、選択肢ではなく数値回答であるため、そのまま平均値を算出した

5. 保有クレジットカードごとの利用理由

1番多く使うクレジットカードの主な利用理由は、「ポイントやマイルが貯めやすいから」、「入会金・年会費が他社と比較して安いから」。

- 1番多く使うクレジットカードの利用理由としては「ポイントやマイルが貯めやすいから(53.9%)」、「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(53.2%)」が5割を超えて高い。次いで「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる(27.0%)」が続く。
- 2番目に多く使うカードでは「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)(44.0%)」が最も高く、次いで「ポイントやマイルが貯めやすいから(33.3%)」が高い。

■ クレジットカード発行会社の利用理由

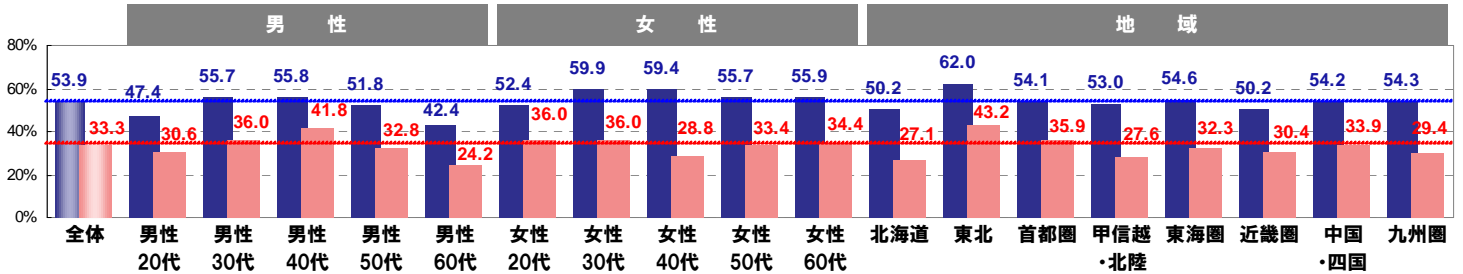


利用理由は30~40代で「ポイントやマイルが貯めやすいから」が高く、
20代では「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料を含む)」が高い。

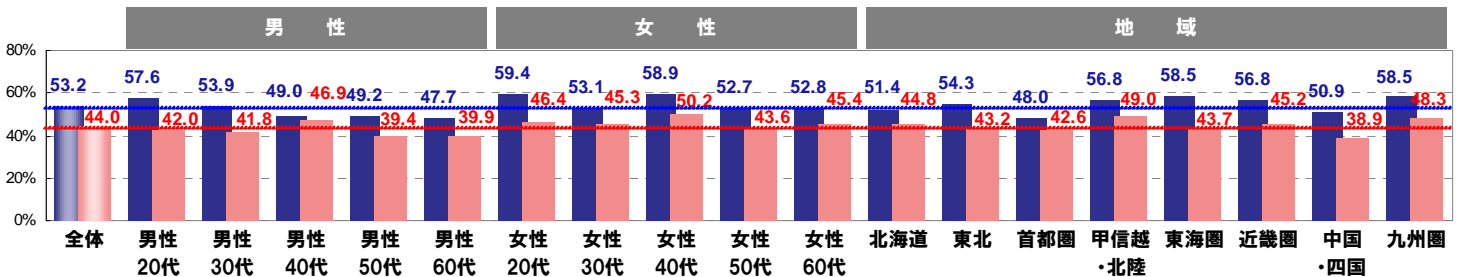
■ クレジットカード発行会社の利用理由【属性別】上位5項目

■ 1番多く使うカード (青)
■ 2番目に多く使うカード (赤)

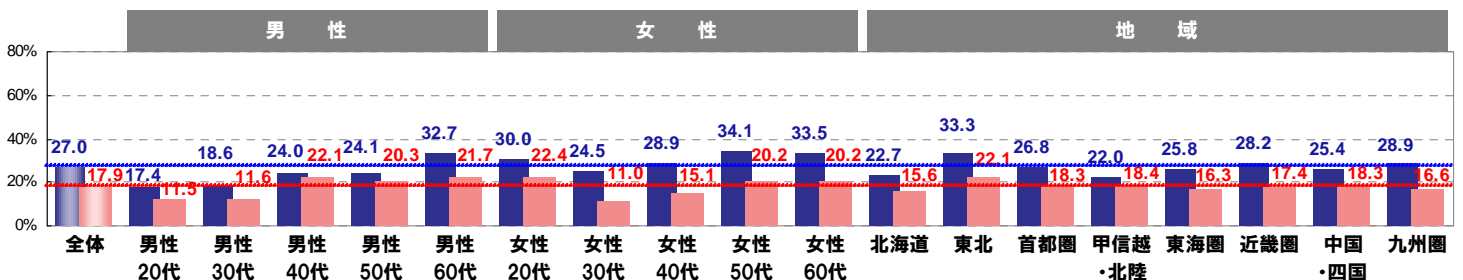
ポイントやマイルが貯めやすいから



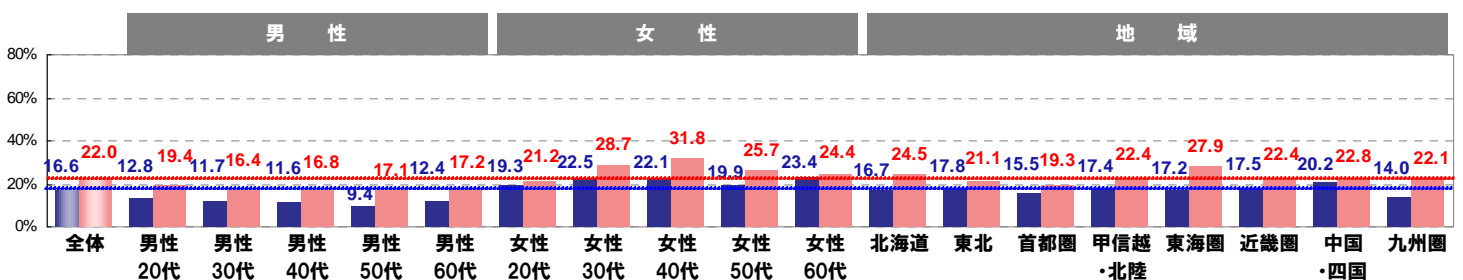
入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料を含む)



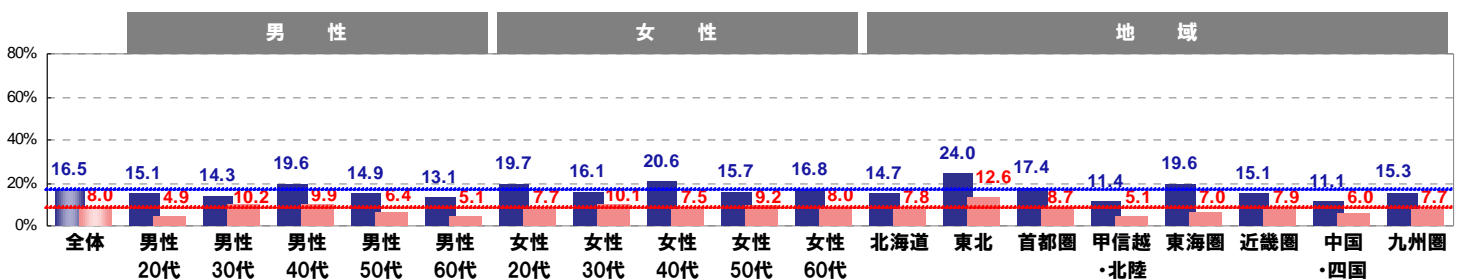
日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる



自分のよく利用するお店で割引などのサービスがあるから



ポイント交換商品が良いから



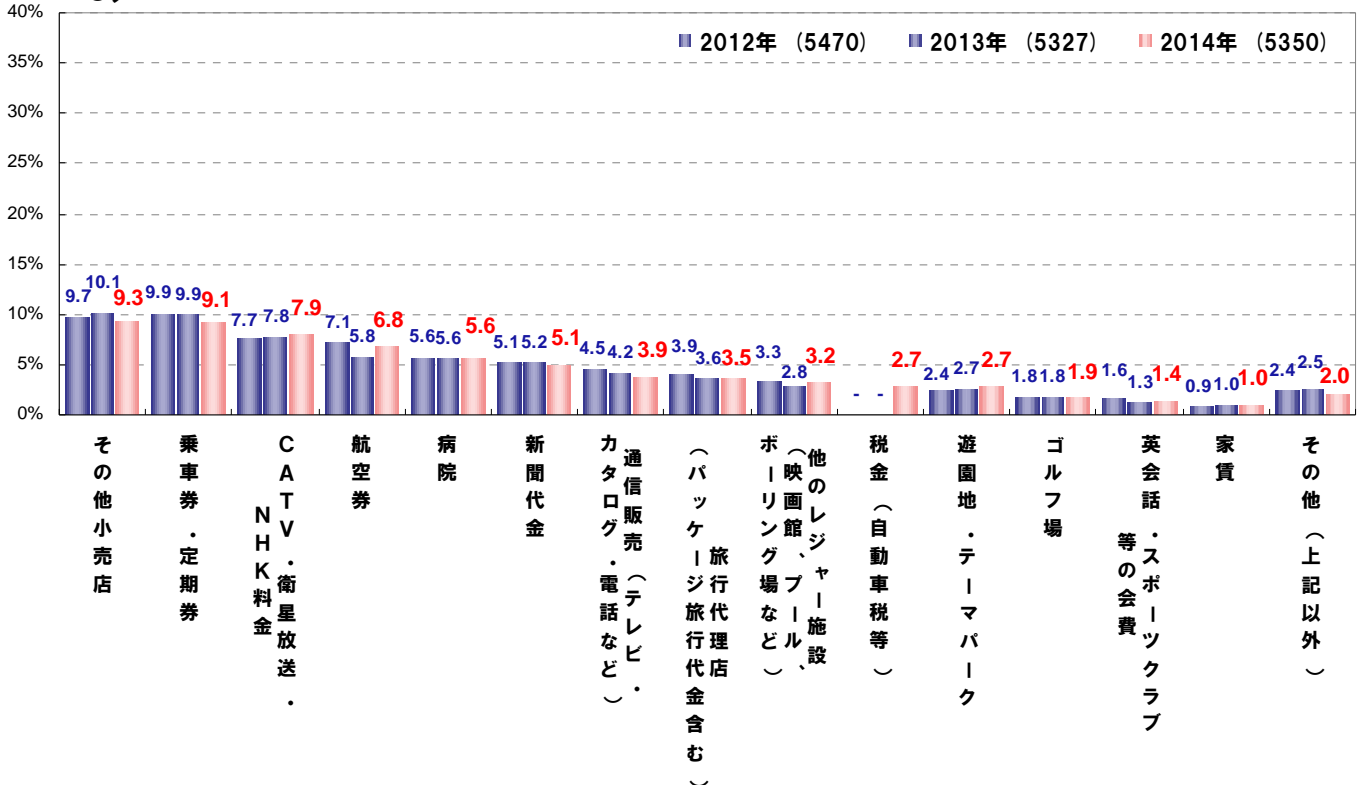
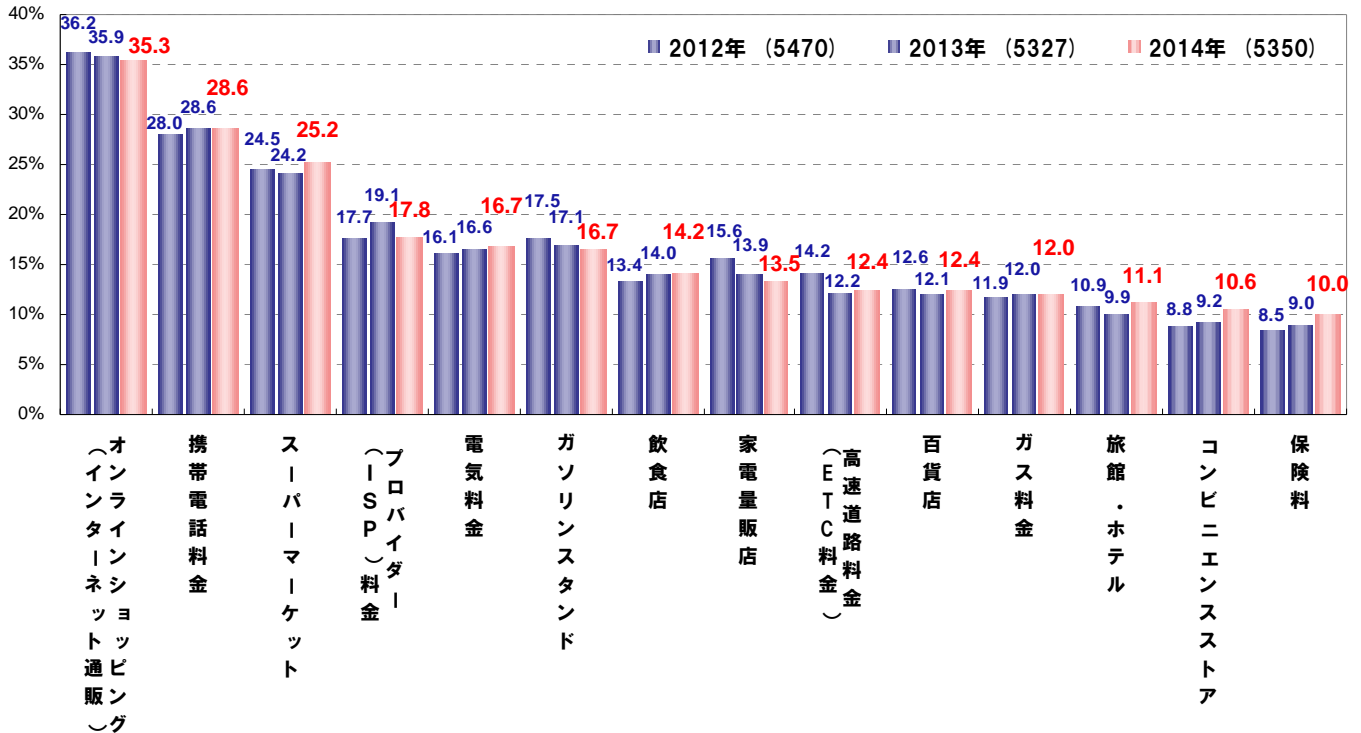
1枚目	(3039)	(244)	(325)	(283)	(333)	(298)	(253)	(329)	(289)	(367)	(318)	(126)	(211)	(1059)	(195)	(368)	(496)	(265)	(318)
2枚目	(2399)	(152)	(250)	(220)	(283)	(260)	(174)	(235)	(238)	(311)	(276)	(97)	(155)	(848)	(145)	(296)	(395)	(212)	(252)

6. クレジットカード利用業種

カード利用が最も高い業種は「オンラインショッピング(インターネット通販)」。
「スーパーマーケット」「百貨店」「コンビニエンスストア」など店頭での支払いでの利用が増加している。

- ・クレジットカードを利用している業種は、「オンラインショッピング(インターネット通販)」が35.3%で最も高い。次いで「携帯電話料金(28.6%)」、「スーパーマーケット(25.2%)」が20%を超えて続く。
- ・「スーパーマーケット」、「百貨店」、「コンビニエンスストア」といった小売店での買い物は、カード利用が増加。
- ・「オンラインショッピング(インターネット通販)」、「ガソリンスタンド」、「家電量販店」での利用は減少傾向にある。

■ 過去3ヶ月のクレジットカード利用業種【経年】(N=5350:クレジットカード枚数)



※ここでのクレジットカード利用業種は、クレジットカード枚数(回答者1人あたり複数枚数について回答)をベースとして集計しています。

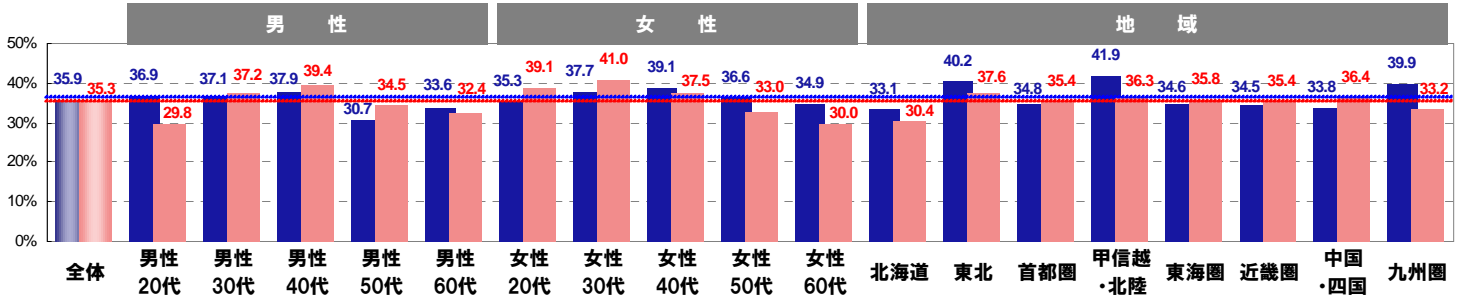
「オンラインショッピング(インターネット通販)」でのカード利用は、男性20代で減少が見られる。
 「携帯電話料金」は、男性20~30代の利用が微増。
 「スーパーマーケット」では特に男性30代、女性40代、60代、東北、近畿圏の増加が目立つ。

■ クレジットカード利用業種【属性別】

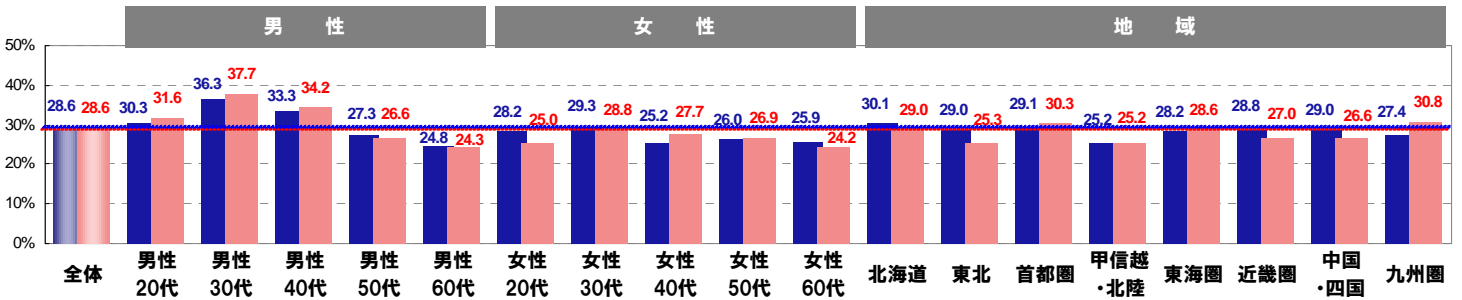
※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数をベースとして集計しています。

オンラインショッピング(インターネット通販)

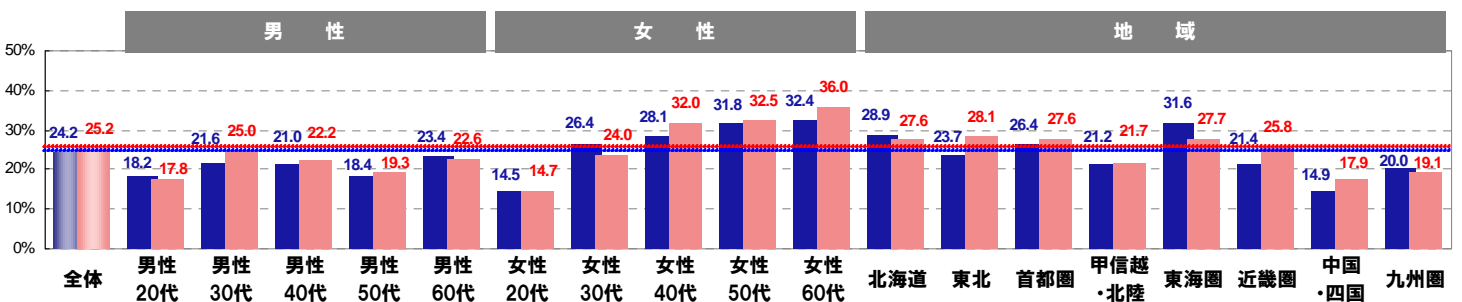
■ 2013年 ■ 2014年



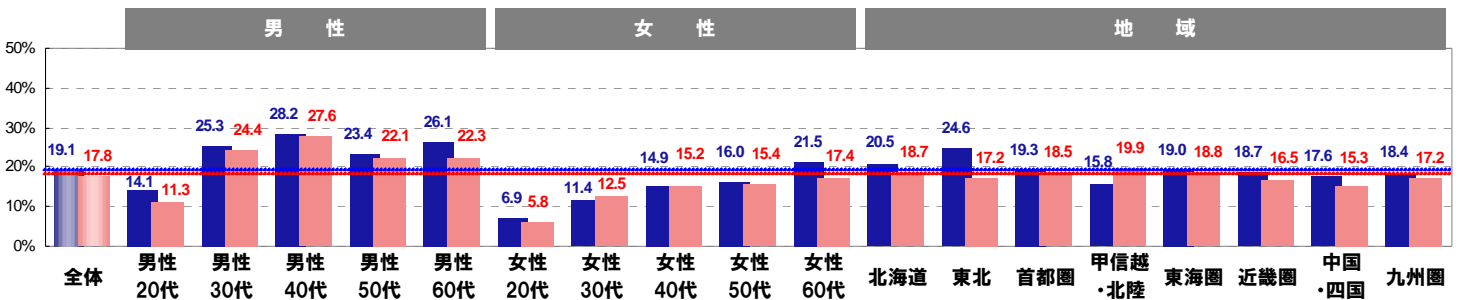
携帯電話料金



スーパーマーケット



プロバイダー(ISP)料金

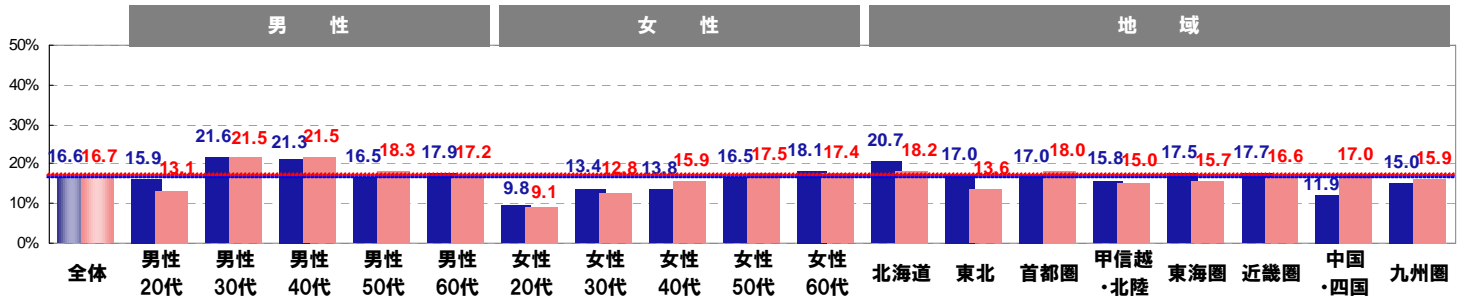


2013年 (5327)	(376)	(579)	(475)	(643)	(503)	(398)	(572)	(536)	(663)	(582)	(216)	(366)	(1927)	(328)	(636)	(879)	(445)	(529)
2014年 (5350)	(384)	(562)	(491)	(605)	(553)	(416)	(560)	(521)	(669)	(589)	(218)	(361)	(1881)	(334)	(647)	(873)	(472)	(563)

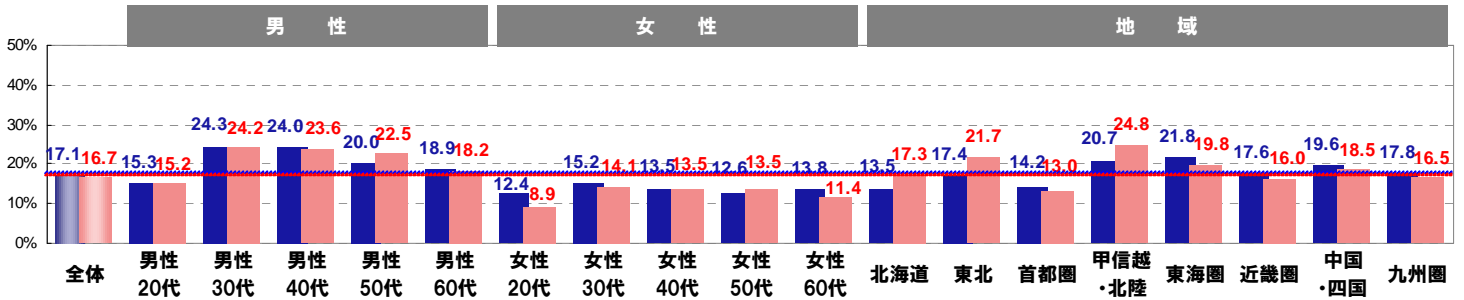
「電気料金」では、中国・四国で利用が増加しているものの、一方で、東北・北海道が減少している。
 「ガソリンスタンド」では北海道、東北、甲信越・北陸が上昇している。

電気料金

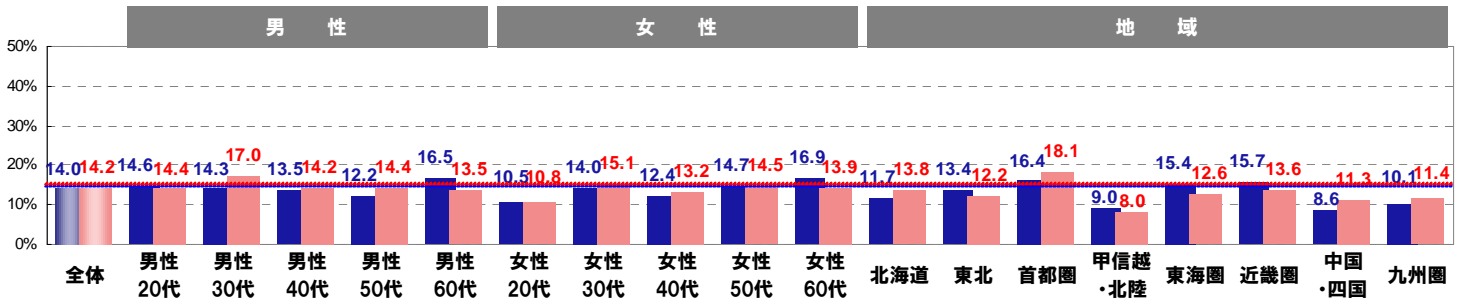
■2013年 ■2014年



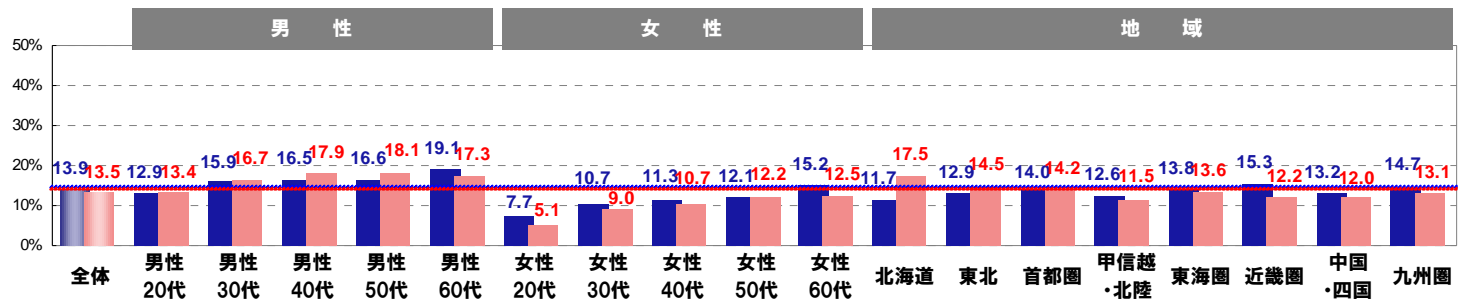
ガソリンスタンド



飲食店



家電量販店



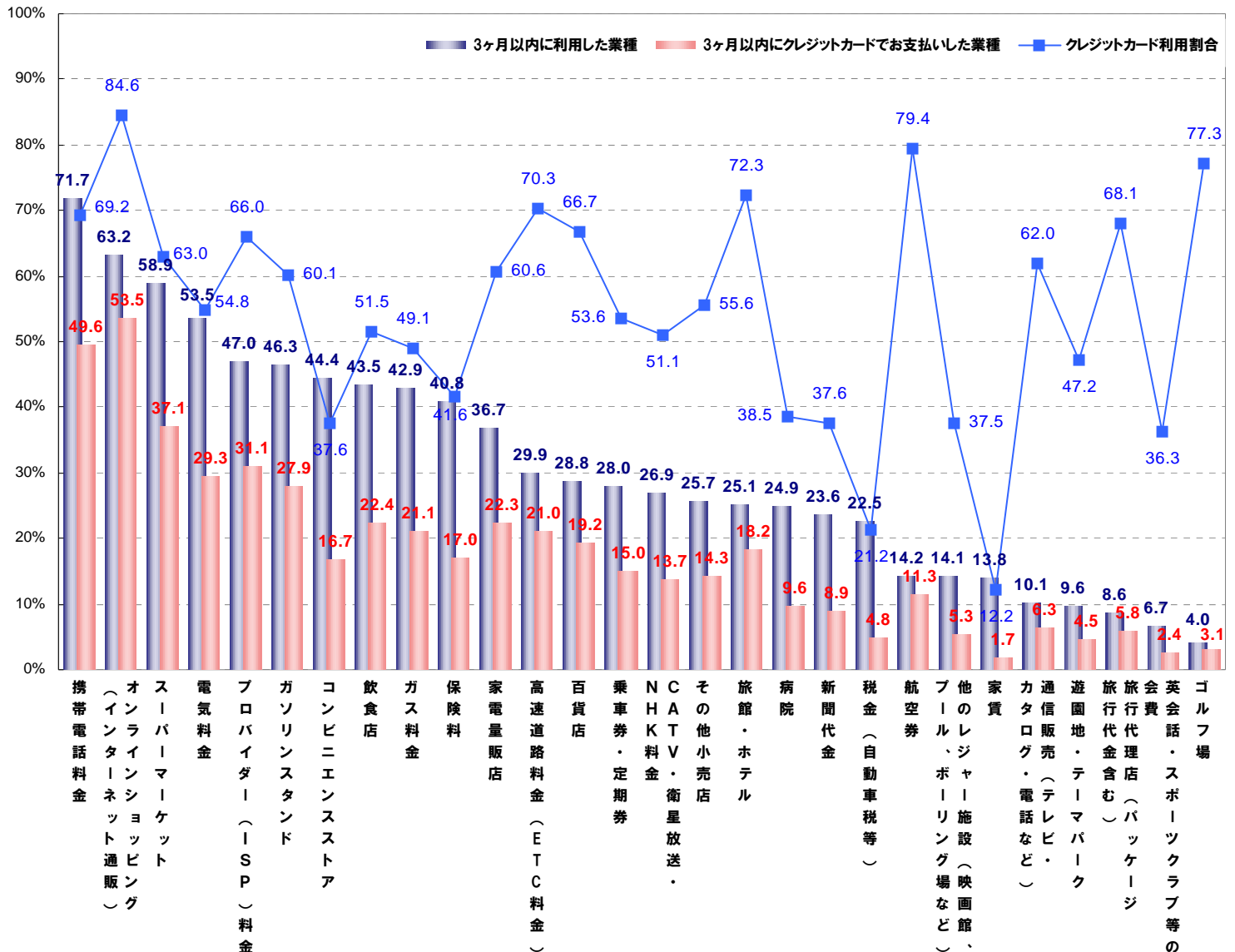
2013年	(5327)	(376)	(579)	(475)	(643)	(503)	(398)	(572)	(536)	(663)	(582)	(216)	(366)	(1927)	(328)	(636)	(879)	(445)	(529)
2014年	(5350)	(384)	(562)	(491)	(605)	(553)	(416)	(560)	(521)	(669)	(589)	(218)	(361)	(1881)	(334)	(647)	(873)	(472)	(563)

7. 支払いの際のクレジットカード利用割合

クレジットカード保有者の5割以上が「オンラインショッピング(インターネット通販)」をクレジットカードで支払っている。
支払いに占めるクレジットカード利用者の割合も8割を超える。

■ 支払いの際のクレジットカード利用者の割合 (N=3039:クレジットカード保有者)

※ここでの利用業種は、クレジットカード保有者をベースとして集計しているため、前出の「クレジットカード枚数」をベースとした数値とは異なります。

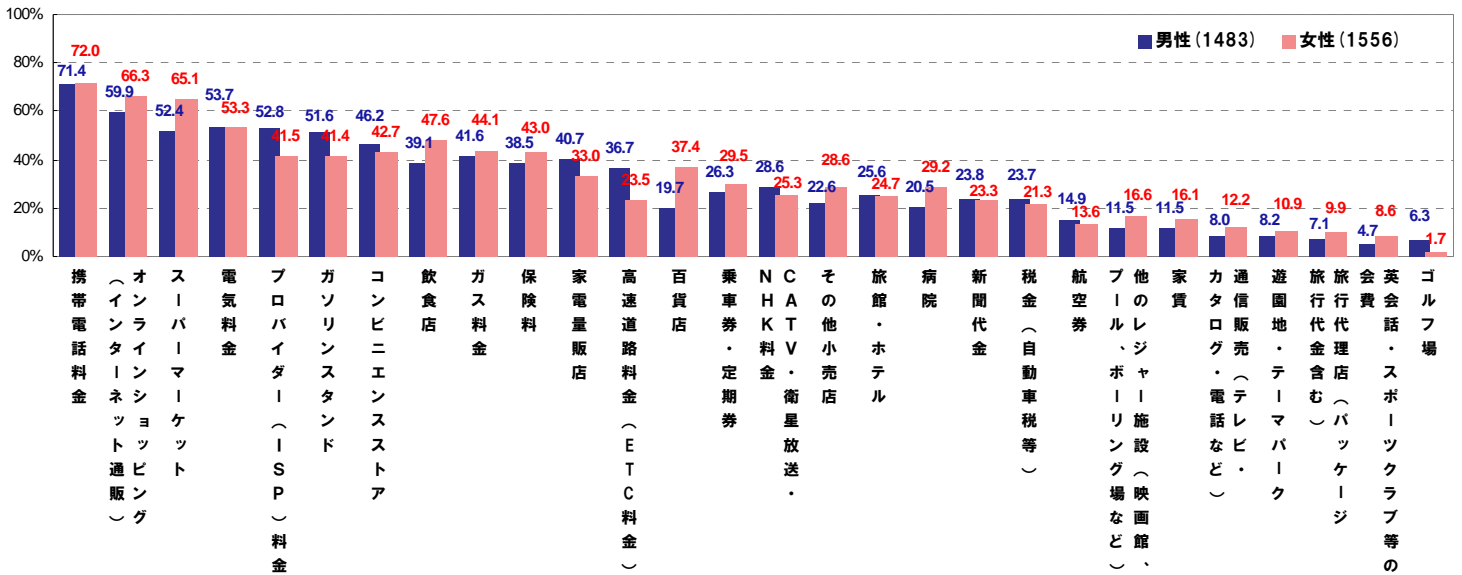


- ・3ヶ月以内に支払いをした業種・・・クレジットカード、現金等を問わず3ヶ月以内に支払いをした業種
- ・3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種・・・3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種
- ・クレジットカード利用割合・・・クレジットカード保有者をベースとして、「3ヶ月以内にクレジットカードで利用した」が「3ヶ月以内に支払いをした(クレジットカード、現金等問わず)」の人数に占める割合を%で示したもの。

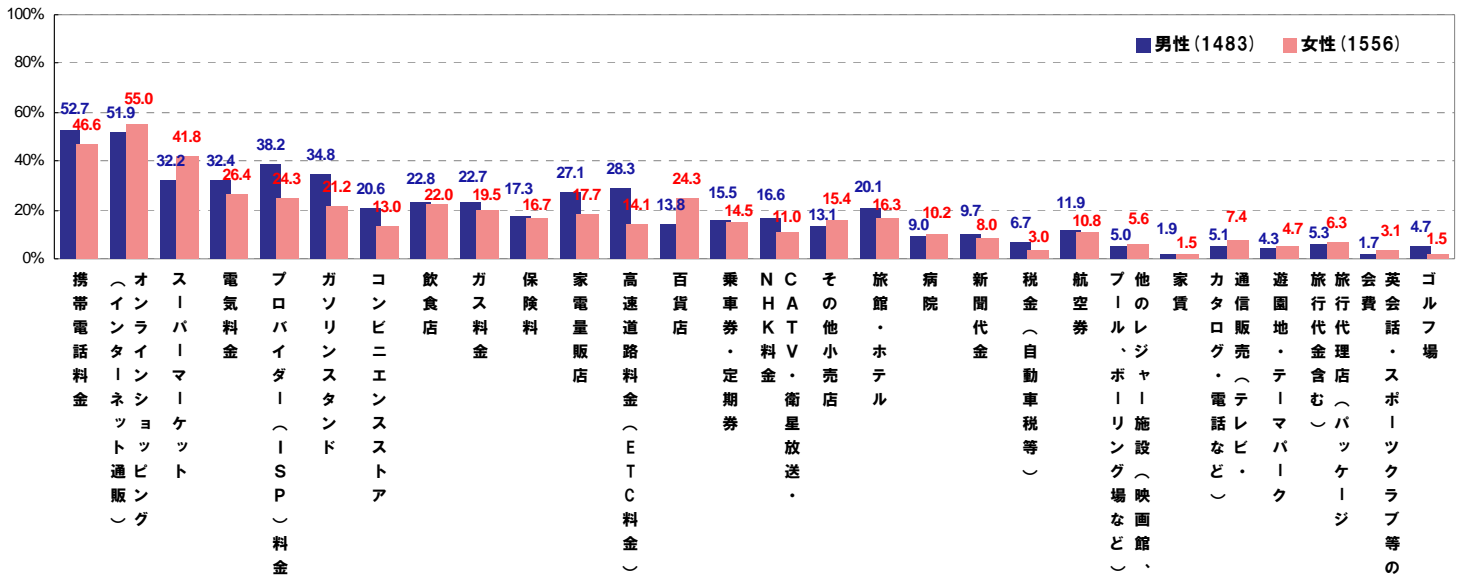
$$\text{クレジットカード利用割合} = \left[\frac{\text{3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種}}{\text{3ヶ月以内に支払いをした業種}} \right]$$

男女別に見ると、全般に男性のほうが支払いの際にクレジットカードを利用している。
ただし、「スーパーマーケット」「百貨店」などの小売店は、女性が男性を上回る傾向がみられる。

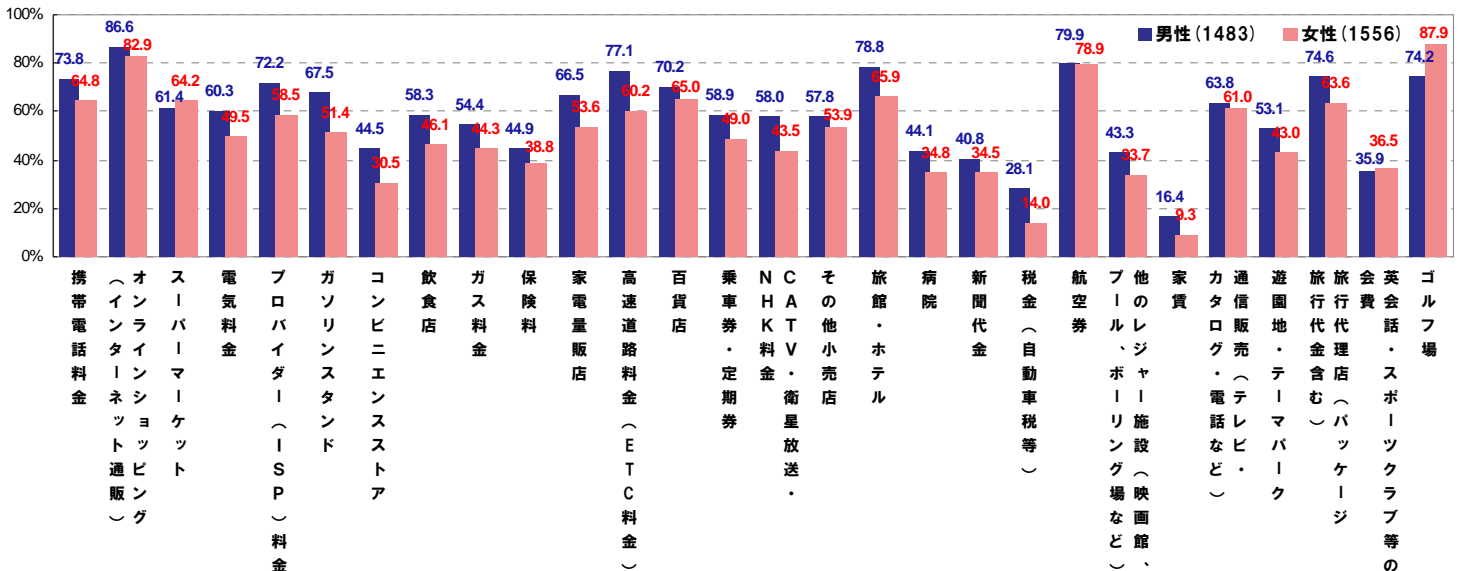
■ 3ヶ月以内に支払いをした業種



■ 3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種



■ クレジットカード利用者の割合



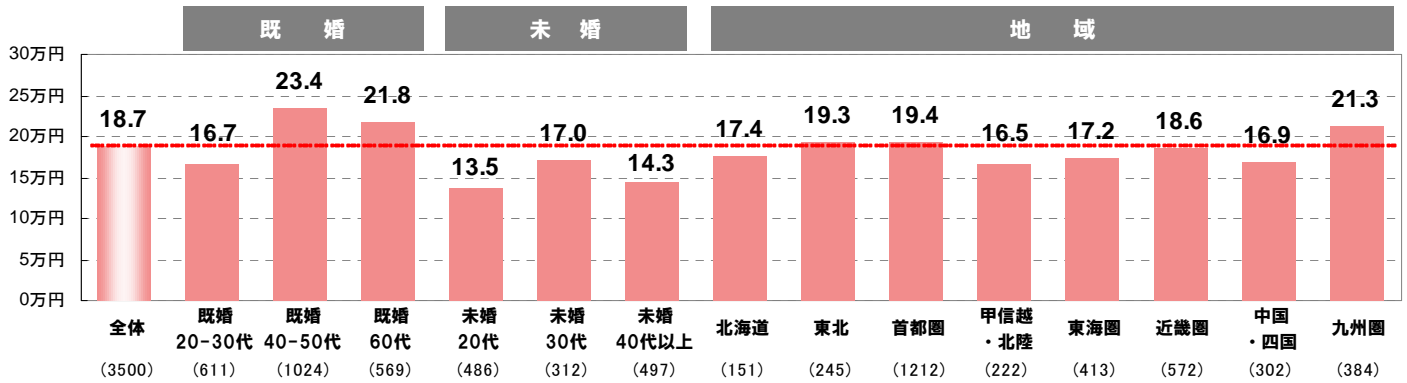
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額

世帯あたりの月平均生活費は18.7万円。うち平均5.9万円がクレジットカードで支払われている。

- 世帯あたりの月平均生活費は18.7万円であった。既婚世帯ほど生活費は高く、地域別では甲信越・北陸が最も低い。
- 世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は5.9万円。未婚世帯は4万円未満と低い。地域別で見ると、中国・四国、九州圏が4.6万円が最も低く、首都圏が7.2万円が最も高い。

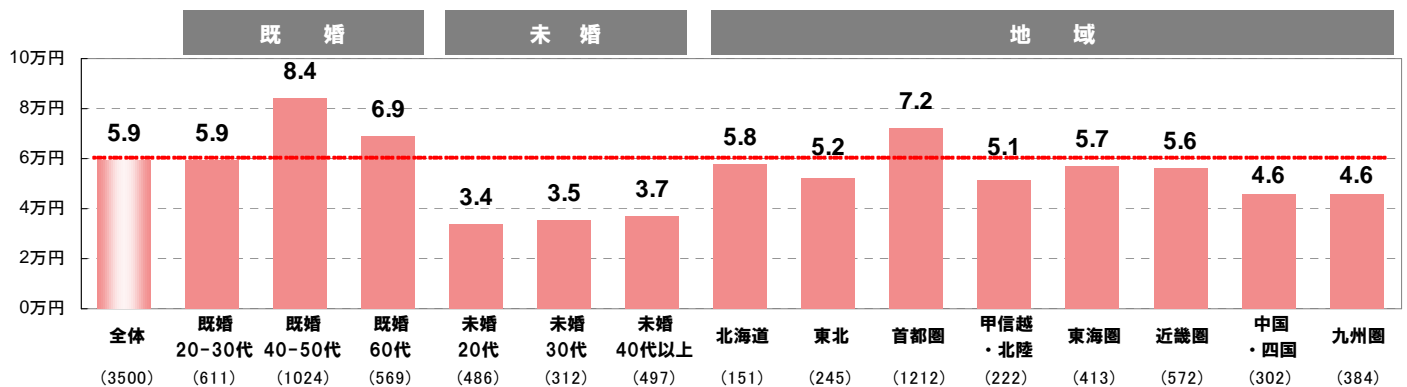
■ 世帯あたり月平均生活費【属性別】 (N=3500)

2014年



■ 世帯あたり月平均クレジットカード利用額【属性別】 (N=3500)

2014年

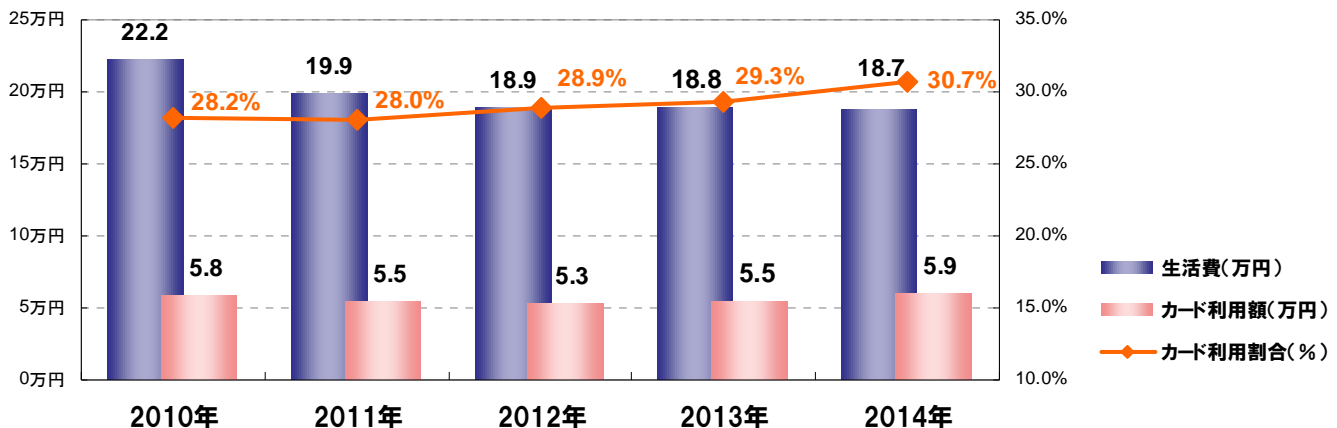


月平均生活費は2010年から減少傾向。クレジットカード利用額は2012年より微増傾向。
クレジットカード利用割合は2011年から上昇傾向。

- 世帯あたりの月平均生活費は、2014年は18.7万円と昨年比1千円の減少。月平均クレジットカード利用額は昨年比4千円増の5.9万円となった。クレジットカード利用額が増加した為、生活費に占めるクレジットカードの利用割合は、2014年は30.7%と3割を超え、2011年から上昇している。

※カード利用割合(%)は、世帯あたりの月平均生活費に占めるカード利用額の割合である。回答者個別のカード利用割合を算出し、その平均値を採用した

■ 世帯あたり月平均生活費 / カード利用額 (N=3500) 【経年】

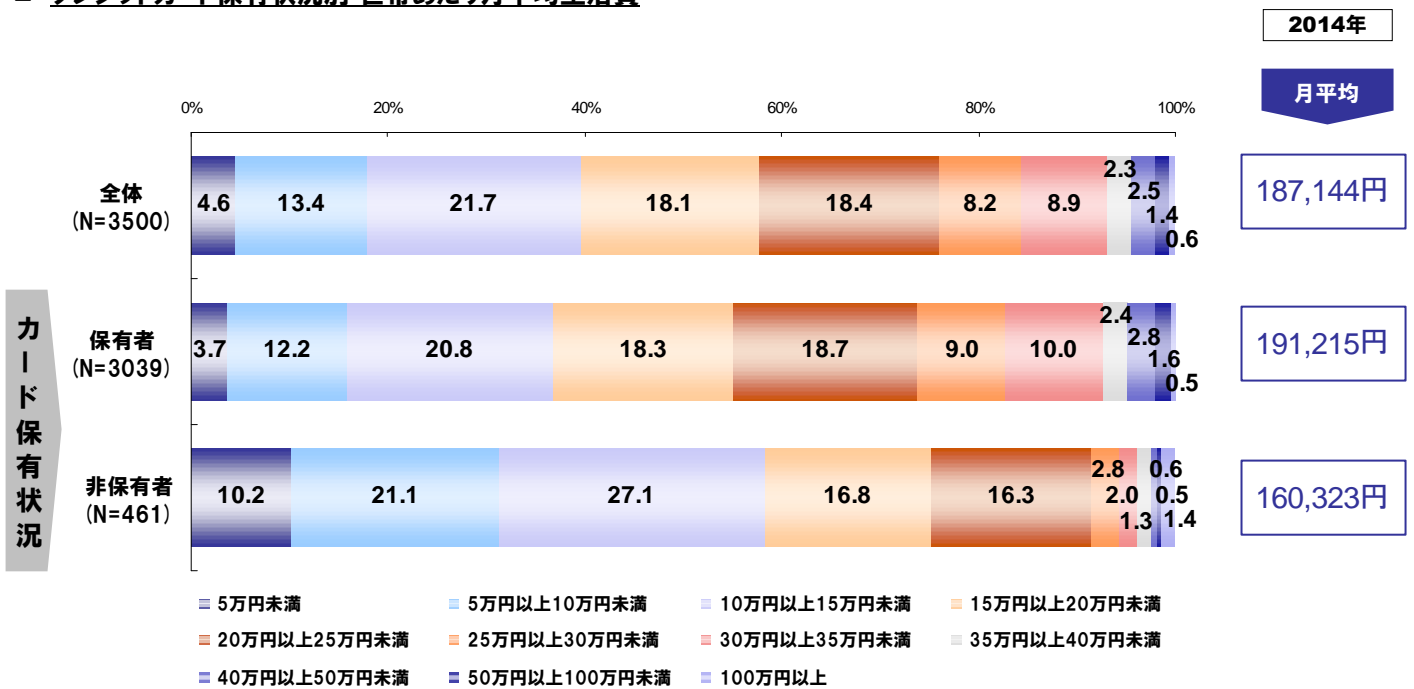


9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況

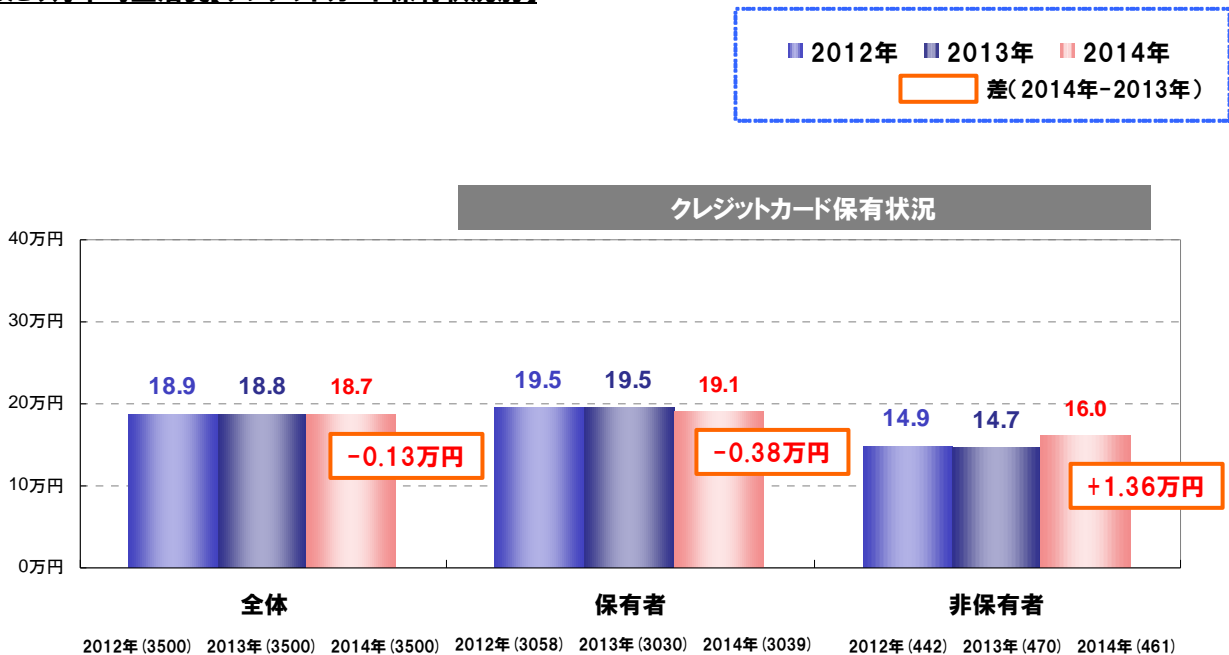
クレジットカード保有者の月平均生活費は19.1万円、非保有者の月平均生活費は16.0万円。

- クレジットカードの保有・非保有別に見た月平均生活費では、保有者が月平均19.1万円であるのに対し、非保有者は16.0万円となり、カード保有者が非保有者を3.1万円、上回る。クレジットカードの保有状況と、世帯あたりの月平均生活費には、相関関係があると考えられる。
- クレジットカード保有者の月平均生活費は2013年と比べ3,800円減少し、非保有者は1万3,600円上昇している。

■ クレジットカード保有状況別 世帯あたり月平均生活費



■ 世帯あたり月平均生活費【クレジットカード保有状況別】

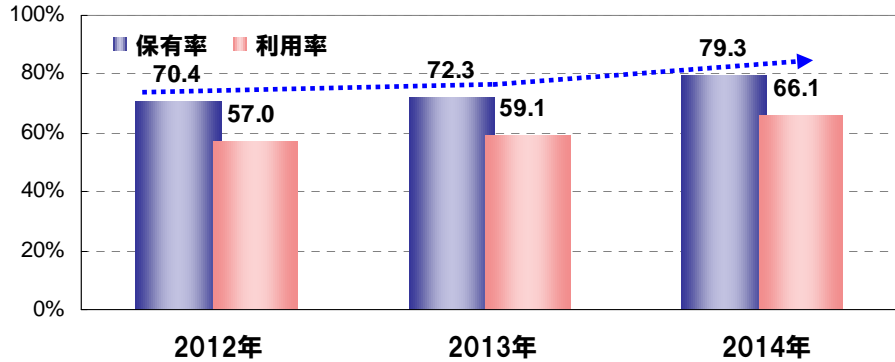


10. 電子マネーの利用状況

電子マネーは保有率、利用率ともに上昇傾向。特に男性20代、50代では2013年より保有者、利用者が増加。
「鉄道・地下鉄・バス」「コンビニエンスストア」での利用が多い。

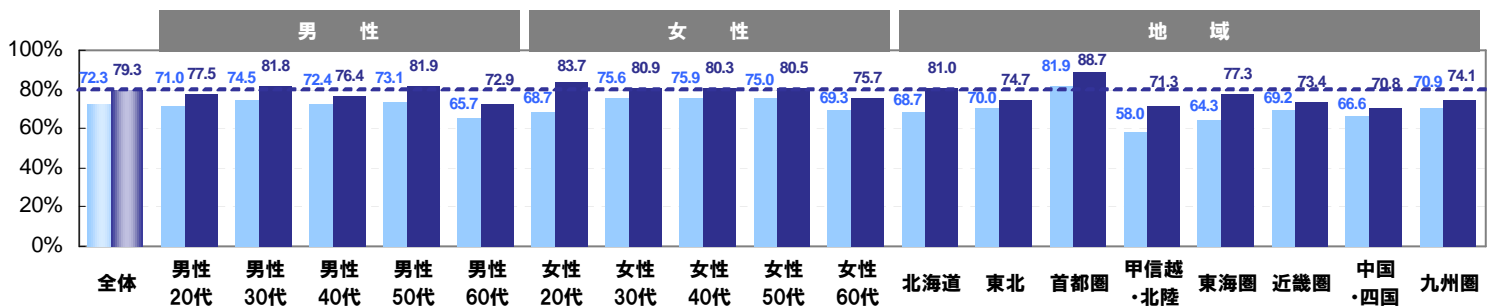
- 電子マネーの保有率(79.3%)、利用率(66.1%)ともに、2012年から増加してきている。特に男性20代、50代は昨年と比較すると保有・利用ともに上昇が目立つ。エリア別では首都圏の保有・利用が高い。
- 電子マネーを利用している業種は、「鉄道・地下鉄・バス」が46.3%で最も高い。次いで「コンビニエンスストア(42.1%)」が40%を超え、続く。

■ 電子マネー保有率/利用率 (N=3500)

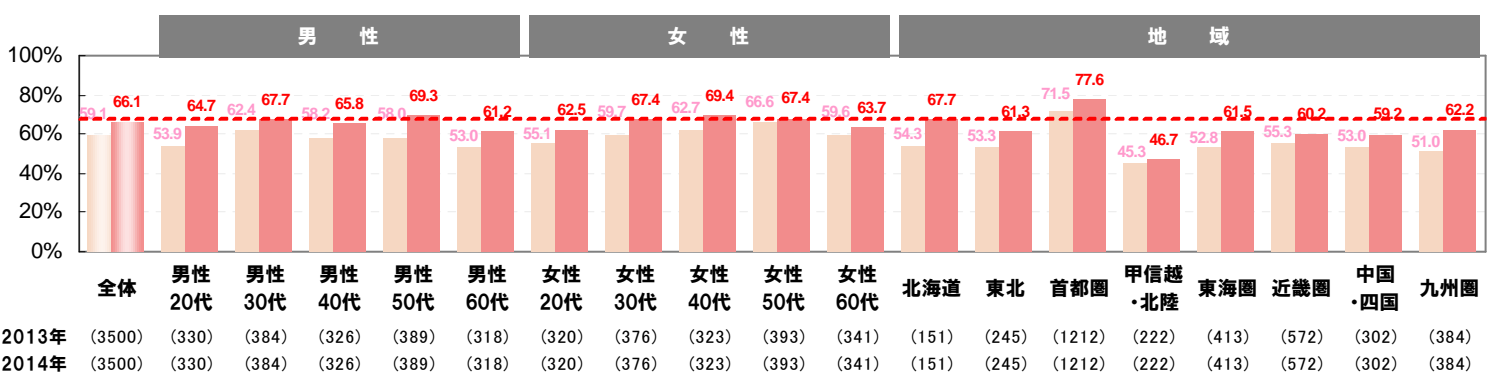


※本調査で電子マネーは「楽天Edy(エディ)」、「Suica・ICOCA・Kitaca・TOICA・SUGOCA・PASMO・manaca・nimoca・はやかけん」などの交通系電子マネー、「PiTaPa(ピタパ)」、「nanaco(ナナコ)」、「WAON(ワオン)」、「iD(アイディー)」※DCMXmini含む、「QUICPay(クイックペイ)」、「その他電子マネー」の保有・利用状況から電子マネー全体の保有・利用率を算出した

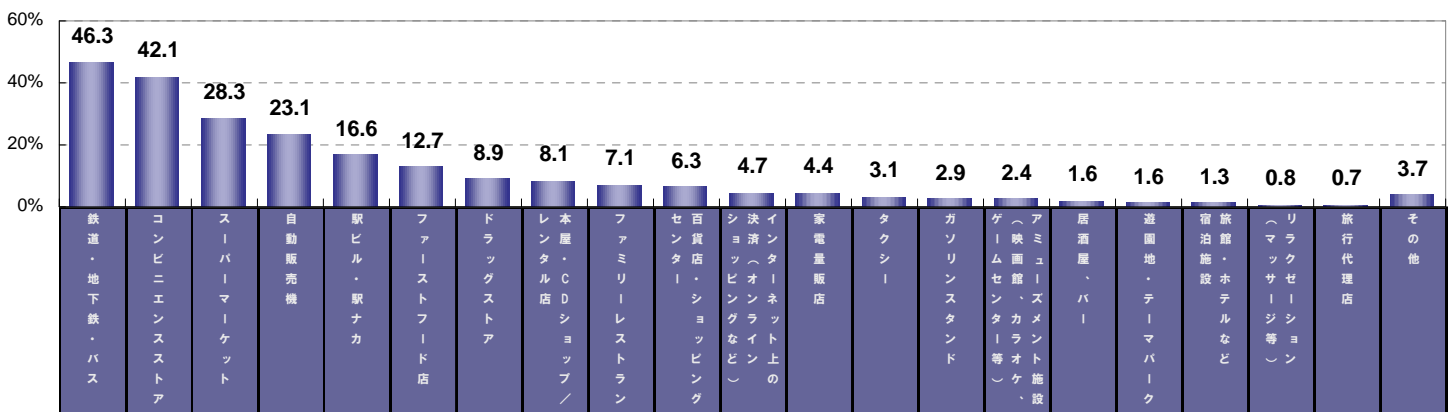
【保有率】



【利用率】



■ 電子マネー利用業種 (N=2776:電子マネー保有者) 【2014年】

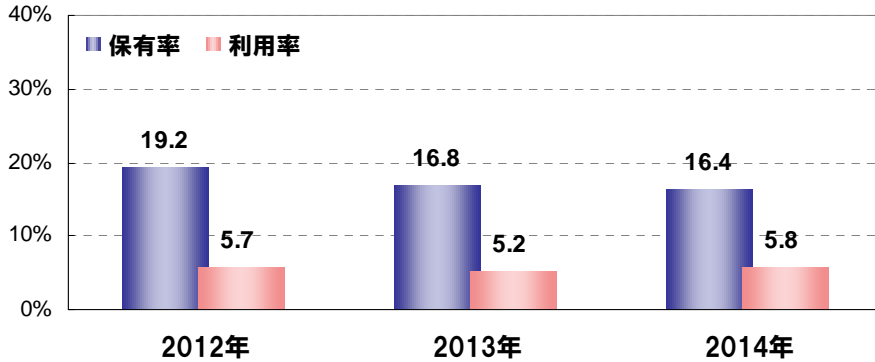


11. デビットカードの利用状況

デビットカードの保有率は16%、利用率は6%で昨年から大きな変化はみられない。
 主な入会理由は「金融機関のキャッシュカードについてきたため」。最も利用しているのは男性50代。

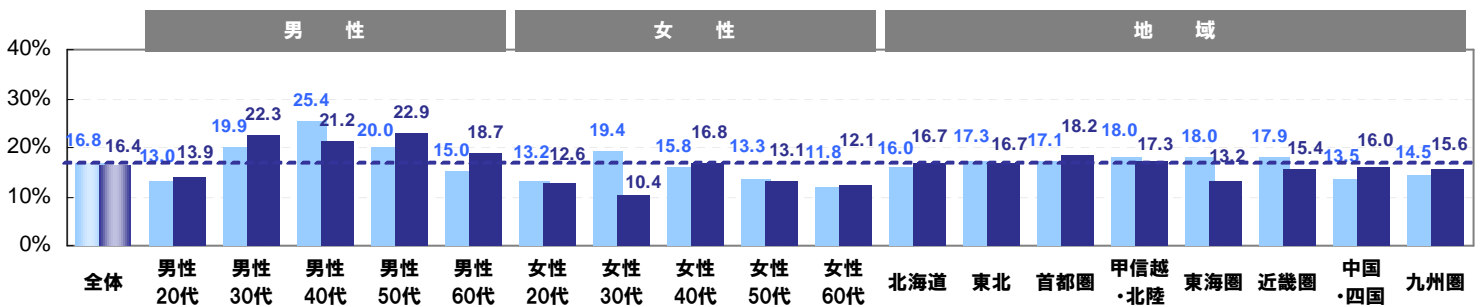
- デビットカードの保有率は16.4%、利用率は5.8%であった。男性50代の保有・利用が高い。女性30代の保有率の低下が目立つ。エリア別で大きな差はないものの、九州圏の利用率がやや高い。
- デビットカードに入会した理由は、「金融機関のキャッシュカードについてきたため」が61.2%で最も高い。

■ デビットカード保有率/利用率 (N=3500)

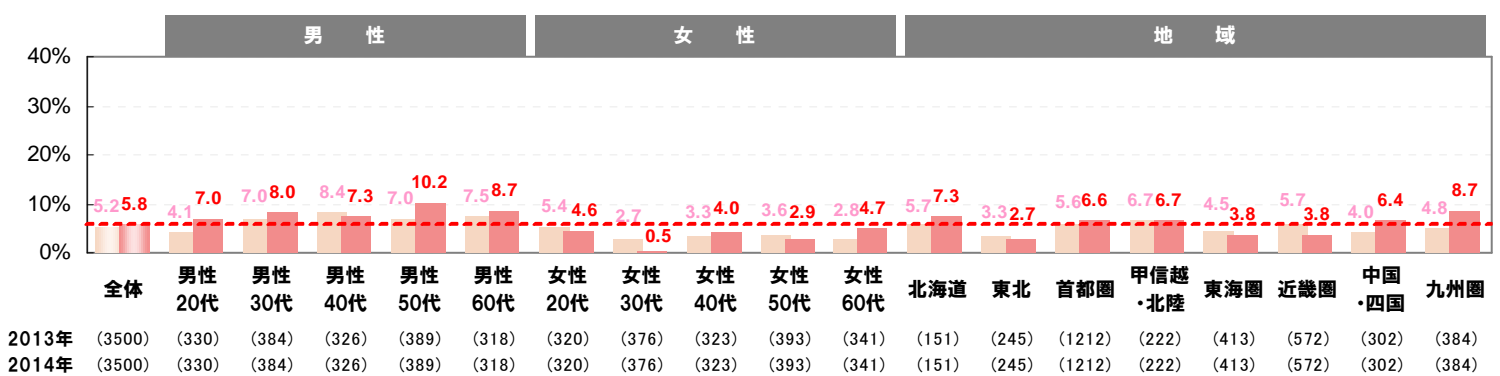


※デビットカードは本調査中で以下のように説明している。
 「金融機関の口座から即時引き落としで現金不要、口座残高の範囲でのご利用となるため使い過ぎることがない。金融機関で発行されたキャッシュカードなどにデビットカード機能が付帯しているものもあります。」
 ※本調査でデビットカードは「銀行などのキャッシュカード(J-debit:デビットカード機能付帯)」、「りそな銀行「りそなVISAデビットカード(JMB)」」、「楽天銀行「楽天銀行デビットカード(VISA)」」、「スルガBK「スルガ銀行VISAデビットカード」」、「ジャパンネット銀行「ワンタイムデビット(VISA)」」、「あおぞら銀行「キャッシュカード・プラス(VISA)」」、「その他」の保有・利用状況からデビットカード全体の保有・利用率を算出した

【保有率】



【利用率】



■ デビットカード入会理由 (N=575:デビットカード保有者) 【2014年】

